

隅田川お花見クルージング 十勝ワインで乾杯、いけだ牛に舌鼓

東京十勝池田会 事務局長 陶 久 要

「隅田川お花見クルージング」の四月五日は朝から小雨模様。クルーザー船は参加者七三名とスタッフを乗せ(株)ワールド・クリエイト社長北条優様の乾杯で勝岡棧橋を正午出航。本企画の目玉は「十勝ワイン」に加えて初登場の池田町産「いけだ牛」です。「池田町ブドウ・ブドウ酒研究所」の安井所長さん自ら皆様にワインや牛肉を勧める熱のいれようです。池田会以外の参加者からも「十勝ワインもいけだ牛も初めて。おいしいねー」と大好評。川の兩岸の桜並木が美しく、お目当ての東京スカイツリーも仰ぎ見ることができ



小雨のデッキで十勝ワイン乾杯!!



30周年を迎えて

東京砂川会 会長

坂下 邦夫

ました。宴もたけなわ、石垣島からご参加の前田博様のヨットでの世界一周体験談に傾聴、十勝ワインの抽選会も一〇本の当たり券をめぐり大いに盛り上がりました。隅田川とも別れの時刻が迫り、全員で春のうららの隅田川♪を合唱。そしていよいよクルージングのハイライトを迎えました。池田町ご出身、大野重男さんの「ハーモニイ運動」から生まれた『今日の日はさようなら』を全員フルコーラスで歌い上げお聞きとなりました。雨の棧橋で『またお会いしましょう。来年もね』様々な声が聞きました。ふるさとを想い、ふるさとの何かに触れるとき、人は皆優しい思いになれるのです。池田町以外のご出身者の方々の声も聞かれました。『あつたかい〜んだからあ〜』

東京砂川会はお蔭様で平成26年に30周年を迎え、現在413名の会員で運営されています。東京砂川会の設立は昭和59年。パブル景気の走りはまだ見えず産業界では前年公布された特定産業構造改善法により、企業間を越えた事業の統合再編が進められていた時期でした。砂川市では、砂川北高校が甲子園に初出場を果たし、環境庁より道内初のアメニティタウンモデル地域の指定を受け、水と緑あふれる公園都市を目指す等の明るいトピックスがありました。一方で企業誘致は進まず、まず道外企業のみを砂川に向けさせる事が肝要と市は砂川出身者、かつて砂川に居住した企業関係者に砂川をふるさととして思い出し頂く機会として東京砂川会を設立しました。

砂川市は大きく変貌しています。人口は減少しています。が、砂川スイートロード、駅前東部地域交流センターゆの完成、北海道の地域センター中核病院として新砂川病院のスタート等、安心して住みやすい快適環境都市としてのコンバクトシティづくりが進められています。今や北菓楼、ソメスの製品は全国有名ブランド化し、ローレルも表参道に進出する等、砂川の企業も頑張っています。ふるさと応援団の一員として嬉しい事であり応援して行きたいものです。



ふるさとツアー

ふるさと長沼会 事務局長

八重樫 謙三



我が「ふるさと長沼会」は一年おきに「ふるさとツアー」を組みふるさとに行っている。今年はその年に当たり7月上旬20名の参加者で行ってきました。

新千歳空港に町役場がバスで迎えに来て頂き、全員で役場を表敬訪問、町長始め町の方から町の現状などについてお話を伺うと、今年はお米を始め農産物の生育は順調とのこと。夜は長沼町、商工会、札幌ふるさと長沼会の皆様との総勢45名の参加で地元名産のジン

ギスカンで懇親会を盛大に行い、大いに親睦を図った

翌日は観光組とゴルフ組に分かれ別行動、観光組は町が用意してくれたバスで洞爺湖方面に、ゴルフ組は町内にあるゴルフ場で長沼町と札幌ふるさと長沼会との対抗戦に参加させて頂き、和気あいあいと楽しい一日を過ごした。

久しぶりに帰るふるさとは広大な景色と澄んだ空、おいしい空気、東京近郊で暮らす私達にとっては心休まるオアシスである。このような良きふるさとを持つている私達は大変幸せものだ、つくづく思うツアーであった。私達ふるさと会は会員との親睦は勿論ですが、ふるさととの交流、そして親睦を図るのも大切な役割ではないでしょうか？

営業種目

- | | |
|----------------|--------------|
| 高低圧電気設備設計施工 | 音響設備設計施工 |
| CVCF、UPS設備設計施工 | セキュリティ設備設計施工 |
| 空調設備設計施工 | 衛星放送アンテナ工事 |
| 防災設備設計施工 | 情報配線システム工事 |
| 自動制御設備設計施工 | 工事付帯設備工事 |

NEEC 西澤電工株式会社

取締役会長 西澤章二
(東京中標津会・会長)

〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-21-7
TEL 03-3738-2181 FAX 03-3738-2180

次なる40周年を目指し東京砂川会が益々盛會になるよう、皆様の更なるご支援ご協力をお願い申し上げます。